



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月7日

上場会社名 株式会社 天満屋ストア 上場取引所 東
 コード番号 9846 URL <http://www.tenmaya-store.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野口 重明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)加島 誠司 (TEL)086-232-7265
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	49,760	△3.2	1,541	△6.2	1,812	6.3	1,128	4.2
2021年2月期第3四半期	51,401	△3.2	1,643	19.4	1,705	16.1	1,082	20.4

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,142百万円 (3.8%) 2021年2月期第3四半期 1,100百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	98.16	—
2021年2月期第3四半期	93.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	45,203	22,716	50.2
2021年2月期	45,754	21,680	47.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 22,685百万円 2021年2月期 21,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2022年2月期	—	3.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	△2.1	2,450	6.7	2,400	0.6	1,100	37.8	95.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年2月期3Q	11,550,000株	2021年2月期	11,550,000株
2022年2月期3Q	52,202株	2021年2月期	33,802株
2022年2月期3Q	11,499,286株	2021年2月期3Q	11,529,945株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの繰り返される感染症拡大により発出された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が、9月中旬以降には感染者数の減少を受け、順次解除されたことから経済活動の正常化が期待されたものの新たな変異株の出現による感染再拡大への懸念や原料費及び物流費の上昇など、先行きは依然不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、コロナ禍における消費行動の変化により在宅消費傾向が続き生活必需品は堅調に推移する一方、生活必需品以外は、需要の縮小や休業及び営業時間短縮による販売機会が減少するなど依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、コロナ禍により常態化した新たな生活様式への変化対応を最重点に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は497億60百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は15億41百万円(前年同四半期比6.2%減)、経常利益は18億12百万円(前年同四半期比6.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億28百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、大型店舗の休業や時短営業の悪影響や前年の巣ごもり需要の反動を受け、衣料品・生活用品の売上回復の遅れや食料品売上の伸び悩みなど依然として厳しい状況が続きました。こうしたなか、お客様の「安全安心かつ短時間」のお買物ニーズに対応するため、キャッシュレス決済の推進、取扱金券の電子化、ネット販売の拡大及び清潔な店舗環境の整備などに努めてまいりました。あわせて、コロナ禍における生活応援として、スーパーハッピープライス商品数の増加によるEDLP(低価格戦略)の強化やE d y付きハッピーカードの新販促、地元企業と連携した販促及びSNSを活用した販促に取り組むほか、業務のデジタル化による生産性の更なる向上や省エネ機器の拡大など環境に配慮した店づくりを通じて働き方改革や環境問題に取り組み、激変する事業環境において迅速に対応できる体制の構築を進めてまいりました。

また、3月に岡南店(岡山市南区)の食料品売場の改装及び複合商業施設「アクロスプラザ岡南」の一部開業、4月に岡輝店(岡山市北区)、7月には広島県府中市と連携したまちづくりに取り組む府中天満屋を全面改装し、2階には府中市が運営する若者、女性、子育て世代をはじめとした幅広い世代を対象とした施設の「i-c o r e F U C H U(いこーれふちゅう)」が開設されるほか、9月に老松店(倉敷市)を全面改装するなど既存店舗の活性化にも注力してまいりました。加えて、株式会社天満屋及び株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携面では、3月に天満屋倉敷店の食料品売場の一部承継オープン、6月より26店舗にセブン銀行ATMを増設するなど取り組みを深耕しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は457億45百万円(前年同四半期比3.4%減)、営業利益は13億7百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売においては商品供給先エリアの拡張などにより堅調に推移しました。また、飲食事業におきましては、コロナ禍に対応できる営業体制の継続に努めるとともに、宣言解除による飲食店利用者の増加やG o T o E a tの再開効果もあり売上は回復基調となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は40億15百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益は2億34百万円(前年同四半期比28.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億50百万円減少し、452億3百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が4億54百万円、有形固定資産が78百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億86百万円減少し、224億87百万円となりました。これは主に、固定負債が9億62百万円、流動負債が6億23百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億35百万円増加し、227億16百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年10月6日公表の業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,041,253	1,128,972
売掛金	1,570,630	1,699,407
商品	1,935,676	1,979,171
貯蔵品	25,764	49,328
その他	1,804,032	1,559,366
貸倒引当金	△1,493	△91
流動資産合計	6,375,864	6,416,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,058,755	12,041,505
土地	14,023,900	13,939,392
その他(純額)	2,460,870	2,483,935
有形固定資産合計	28,543,526	28,464,833
無形固定資産		
のれん	113,673	85,255
その他	2,598,695	2,568,773
無形固定資産合計	2,712,369	2,654,028
投資その他の資産		
差入保証金	1,925,105	1,843,314
敷金	4,246,879	4,005,447
その他	1,963,568	1,832,477
貸倒引当金	△12,600	△12,400
投資その他の資産合計	8,122,954	7,668,839
固定資産合計	39,378,850	38,787,701
資産合計	45,754,714	45,203,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,452,638	4,959,306
電子記録債務	716,168	729,069
短期借入金	6,653,857	3,372,246
未払法人税等	411,317	264,070
賞与引当金	94,085	13,308
その他	3,280,612	3,646,836
流動負債合計	13,608,679	12,984,837
固定負債		
長期借入金	5,274,125	4,571,065
役員株式給付引当金	30,756	37,357
利息返還損失引当金	49,201	34,603
退職給付に係る負債	1,266,645	1,272,170
資産除去債務	234,664	237,847
長期預り保証金	622,315	413,850
長期預り敷金	2,001,372	2,033,482
その他	986,169	902,410
固定負債合計	10,465,250	9,502,787
負債合計	24,073,930	22,487,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	12,747,558	13,812,848
自己株式	△39,376	△61,236
株主資本合計	21,753,182	22,796,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,886	25,079
退職給付に係る調整累計額	△161,707	△136,350
その他の包括利益累計額合計	△119,820	△111,270
非支配株主持分	47,422	30,890
純資産合計	21,680,784	22,716,231
負債純資産合計	45,754,714	45,203,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	49,133,955	47,460,127
売上原価	36,643,046	35,221,222
売上総利益	12,490,909	12,238,904
営業収入	2,267,072	2,300,729
営業総利益	14,757,982	14,539,633
販売費及び一般管理費	13,114,943	12,998,172
営業利益	1,643,039	1,541,461
営業外収益		
受取利息	2,399	2,398
受取配当金	51,967	52,963
補助金収入	5,379	136,502
雇用調整助成金	52,037	95,293
協賛金収入	16,438	20,573
受取補償金	7,804	7,925
その他	12,629	16,893
営業外収益合計	148,657	332,550
営業外費用		
支払利息	72,102	56,852
その他	13,934	4,666
営業外費用合計	86,037	61,518
経常利益	1,705,658	1,812,492
特別利益		
固定資産売却益	—	35,839
投資有価証券売却益	—	24,103
特別利益合計	—	59,942
特別損失		
固定資産除却損	73,133	176,321
固定資産売却損	—	1,393
その他	5,936	11,012
特別損失合計	79,070	188,727
税金等調整前四半期純利益	1,626,588	1,683,707
法人税等	539,279	549,846
四半期純利益	1,087,308	1,133,861
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,496	5,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,082,812	1,128,811

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,087,308	1,133,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,663	△16,807
退職給付に係る調整額	17,785	25,356
その他の包括利益合計	13,121	8,549
四半期包括利益	1,100,430	1,142,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095,934	1,137,361
非支配株主に係る四半期包括利益	4,496	5,049

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。